



日 鶏 協 ニ ュ ー ス



2025年5月号

一般社団法人日本養鶏協会

INDEX

・農林水産省、鳥インフルエンザ対策パッケージを公表	1-2
・令和7年度家畜防疫互助中央推進会議が開催されました	3-4
・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ（令和6年度鶏卵の試買調査の結果について）	5
・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ （令和6年度プレゼントキャンペーンの結果について）	6
・令和6年 鶏卵流通統計調査（農林水産省）	7
・統計データ	8
・協会活動報告	9

農林水産省、鳥インフルエンザ対策パッケージを公表

既にお伝えしているところですが、令和7年4月18日に、農水省が「家畜伝染病対策の強化について（農林水産省鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ豚熱合同防疫対策本部）」を公表しております。鳥インフルエンザに関する主な内容は以下のとおりです。詳細は農水省のホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/index-837.pdf>

□ 令和6年シーズンの発生に関する疫学検討（中間取りまとめ）

- 令和7年3月21日、専門家による疫学検討会を開催し、同日時点の51事例を踏まえた提言を取りまとめ・公表。
- 今後の発生予防・まん延防止に向け、農場集中地域での対策や既発農場・大規模農場対策等が重要との見解。

1. 養鶏密集地域における対策

- ①地域一体の対策： 家畜保健衛生所や自衛防疫団体が中心となり、日頃から地域の農場間で飼養衛生管理状況等について情報交換するなど、地域一体の対策が重要。
- ②カラス等野鳥の誘引防止： 特に堆肥舎はカラス等の野鳥を誘引しやすいため、防鳥ネットの設置はもとより、家きんの死体や破卵等を焼却等により適切に処理することが必要。
- ③異状の早期発見・早期通報： 養鶏密集地域で発生確認が遅れることは、非常に大きい感染拡大のリスク。早期通報等の重要性を地域全体で認識共有することが必要。
- ④防疫措置の速やかな着手及び完了： 養鶏密集地域における防疫作業の遅れは、続発リスクを著しく高める。都道府県における殺処分迅速化の技術的検討など体制整備が重要。
- ⑤塵埃（じんあい）を介したウイルスの侵入防止対策： 少なくともシーズン中は、フィルター、細霧装置、不織布設置など、通常の飼養衛生管理基準より一段踏み込んだ塵埃の侵入防止対策が有効。
- ⑥野鳥・野生生物のすみか対策： 野鳥等の生息状況等の把握を日頃から行うとともに、野鳥等のすみか・隠れ家となりうる農場周辺等の雑草・樹木等の除去や農場内の整理整頓が重要。
- ⑦共同利用施設での衛生管理措置の実施： 堆肥舎や死亡家きん処理施設の共用に伴う交差汚染を防止するため、これら共用施設における適切な衛生管理措置の実施が重要。
- ⑧家きん農場密集地域での発生時の対応： 続発防止のため発生の際速やかな初動対応を行え



るよう、日頃から発生時の対応を地域でよく協議し、発生の際には消毒等を協力し実施することが重要。

- ⑨防疫作業時の拡散防止対策の徹底： 小動物や作業者の移動を介した感染拡大を防ぐため、発生農場における排気対策、死体の消毒、作業者の迂回移動等の実施が重要。

2. 既発農場、大規模農場における対策

- ①既発農場における対策： 過去発生農場及びその周辺は、発生・続発リスクが高いと考えられることから、飼養衛生管理の遵守徹底や発生に備えた消毒薬備蓄等の対策が重要。
- ②大規模農場における対策： 特に20万羽以上の飼養農場においては、農場の分割管理に取り組み、発生時の殺処分対象家きんを削減することが有効。

□ 鳥インフルエンザ対策パッケージ

- 今シーズンの疫学調査の結果も踏まえ、地域の連続発生に的確に対処し、殺処分による影響をできるだけ減らすため、来シーズンに向け、以下の対策パッケージを打ち出すべく、今後、家きん疾病小委員会で、詳細を検討。

I 飼養衛生管理の強化

- 養鶏集中地域や過去続発地域をあらかじめ指定し、地域ぐるみでの野鳥対策や発生時の速やかな消毒対応等を実施
- 過去の調査報告も踏まえ、続発の一因と考えられる塵埃対策等を飼養衛生管理基準に新たに位置付け
- 再発農家への改善確認の強化、飼養衛生管理に不遵守が見られた場合の手当金減額率の見直し
- 指導に従わない農家への法的な指導や勧告の実効性向上
- 飼養衛生管理基準への段階評価の導入

II 分割管理の推進

- 分割管理に取り組む場合の対応を法律に基づく飼養衛生管理基準に位置付け
- 大規模農家での分割管理の検討を義務付け
- 導入を促進するため、一定の衛生管理や経過観察を行うことを条件に、分割管理の運用の見直し

III ワクチン接種の検討

- 効果の高い新技術ワクチンの開発や欧米の状況を踏まえ、予防的ワクチン接種の導入に向けた検討を開始

IV まん延防止に向けた防疫措置の見直し

- 民間事業者の活用が進むよう、事業者のリスト化、研修の実施、事前の協議等を促進



令和7年度家畜防疫互助中央推進会議が開催されました

4月23日、A P東京八重洲において 令和7年度家畜防疫互助基金支援事業に係る中央推進会議を開催、本年も36道府県養鶏協会から39名（Web参加含む）と多数参加を得ました。

冒頭の農林水産省 消費・安全局動物衛生課 岡村課長補佐（保健衛生担当）及び当協会石井専務理事挨拶に続き、議事に入りました。

石井専務理事の「令和7年度（一社）日本養鶏協会の主な取組み」に関する紹介、また、岡村課長補佐より令和6年シーズンの国内での高病原性鳥インフルエンザ（以下HPAI）発生状況及び世界におけるHPAI発生状況に加え、HPAI対策の最新情報について説明がありました。



その後、事務局より、「第8期・第9期家畜防疫互助基金支援事業実施状況」及び「第9期家畜防疫互助基金支援事業の概略、令和7年度参加時の留意事項等」についても説明を行いました。このなかで、今年度の互助事業参加募集スケジュールについて、5月最終週より契約書等の関係書類一式の送付を開始する予定であることを伝えました。また、トピックスとして、（独）農畜産業振興機構 畜産振興部坂西畜産生産課長より「家畜疾病経営維持資金・クイック融資メニュー」の概略について紹介がありました。

質疑応答ではWeb参加者からも手が挙がり、会場側と双方向でのやり取りを通じ、実りある情報交換や共有の場になったものと考えております。

これを受けて当協会側から道府県養鶏協会に対し、引き続き事務委託等を通じて本事業の益々の発展にお力添え願いたい旨のメッセージで締め括り、お陰様で滞りなく閉会となりました。

[〈プレゼン資料のリンク用ファイル〉](#) ← [こちらをクリックしてください。](#)



中央推進会議
pptx



<クイック融資>

農林水産省ホームページURL

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/chikusan_kinyu/attach/pdf/index-286.pdf

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_zigyo/chikusan_kinyu/attach/pdf/index-287.pdf

【お問い合わせ】

業務第1部

Tel : 03-3297-5515



鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

令和6年度 鶏卵の試買調査の結果 について

生食用として一般消費者に販売される国産殻付き鶏卵の表示の適正化を図るため、平成21年に公正取引委員会の承認を得て鶏卵公正取引協議会が設立されました。協議会では毎年、公正マークの付された商品の中から市販品買い入れ調査を行い表示の確認を実施してきました。また、公正マーク以外の商品についても試買を行い、その表示が公正競争規約や食品表示法に適合しているかどうかの確認を行い、不適当と判断されるものについては、これを是正するよう働きかける活動を行っています。

全国女性団体連絡協議会にご協力を頂き無作為に量販店等で購入した39商品について、事業者数は30社、うち鶏卵公正取引協議会の会員数は12社で2商品が公正マーク品でした。

- 39商品の内訳：【栄養表示卵等は22商品、その他の普通卵は17商品】
- 購入県：【青森県、岩手県、茨城県、埼玉県、愛知県、石川県、兵庫県、佐賀県】
各5パック（1名4パック）を購入】
- 鶏卵購入日：令和7年1月21日（火）～31日（金）

調査内容は、

- 1) 食品表示法および食品表示基準にラベルの表示内容が適合しているか
- 2) 農水省規格品に関しては、鶏卵規格取引要綱に準じた表示がなされているか
- 3) 公正競争規約及び施行規則に表示内容が準じているか

結果につきましては、鶏卵公正取引協議会のホームページよりご確認ください。

https://www.jpa.or.jp/keiran_root/

「日本食品標準成分表（八訂）増補2023年版」への切り替えはお済みですか？

日本食品標準成分表は、2024年10月に2020年版を更新・追記しました。規約では「最新版」を使用することになっていますので、速やかに増補2023年版に切り替えるようお願いいたします。

https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.html

【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 事務局

Tel : 03-3297-5516



鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

令和6年度 プレゼントキャンペーンの結果について



鶏卵公正取引協議会では、公正マークの普及や鶏卵の表示に関する消費者の理解促進を図るため、毎年2回「公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン」を実施しています。

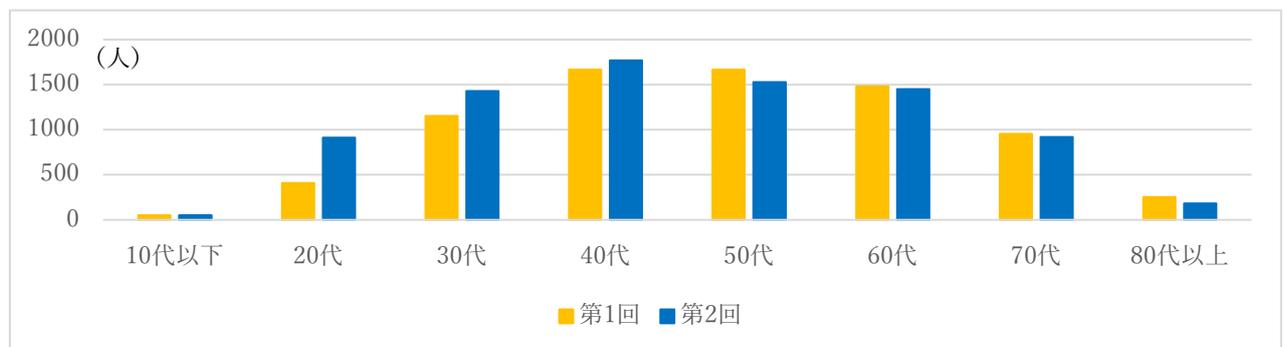
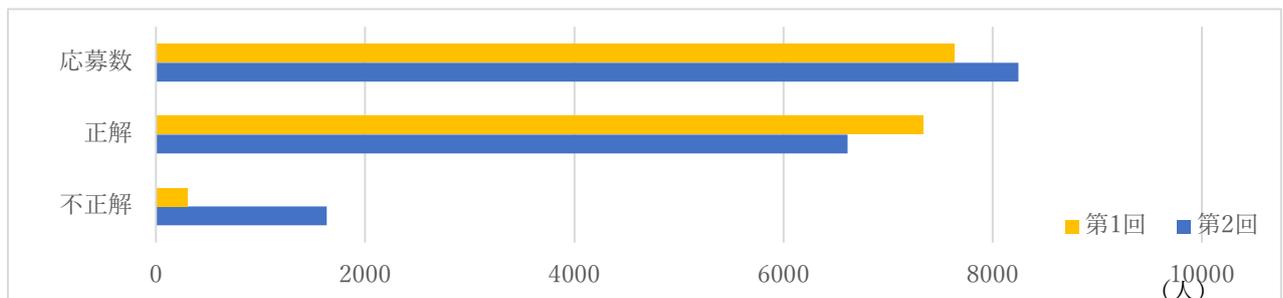
今回のキャンペーンは、新たな取り組みとして、クイズに正解するとたまご券5枚(500円相当)を毎回100名の消費者にプレゼントすることにしました。

令和6年度については

第1回 令和7年 2月10日～令和7年 2月28日

第2回 令和7年 3月10日～令和7年 3月28日 で実施致しました。

広く鶏卵への関心を高めたいという願いから鶏卵の基礎知識を関連させた問題を出題しました。第1回は「エサに米を与えると黄身は何色に変わるか?」、第2回は「日本は、1人当たりの鶏卵消費量(国際鶏卵委員会調べ)は世界第何位?」を設問しました。今年も例年同様、男女問わず幅広い年齢層からの応募をいただきました。



【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 事務局

Tel : 03-3297-5516



令和6年 鶏卵流通統計調査（農林水産省）

令和7年4月30日、農林水産省から「令和6年鶏卵流通統計調査」が公表されましたので、以下の通りご紹介します。

■ [令和6年鶏卵流通統計調査結果：農林水産省](#)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tikusan_ryutu/pdf/keiran_24.pdf

【お問い合わせ】

農林水産省 大臣官房統計部 生産流通消費統計課 消費統計室 担当者：流通動向第2班
代表：03-3502-8111（内線3710）ダイヤルイン：03-3502-5947



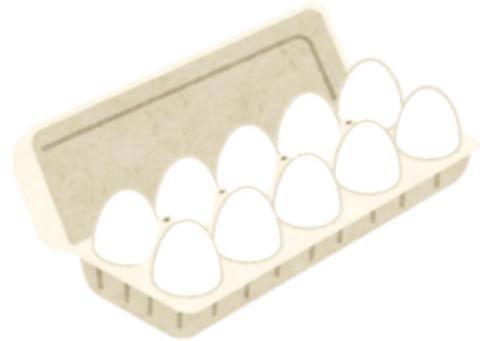
統計データ



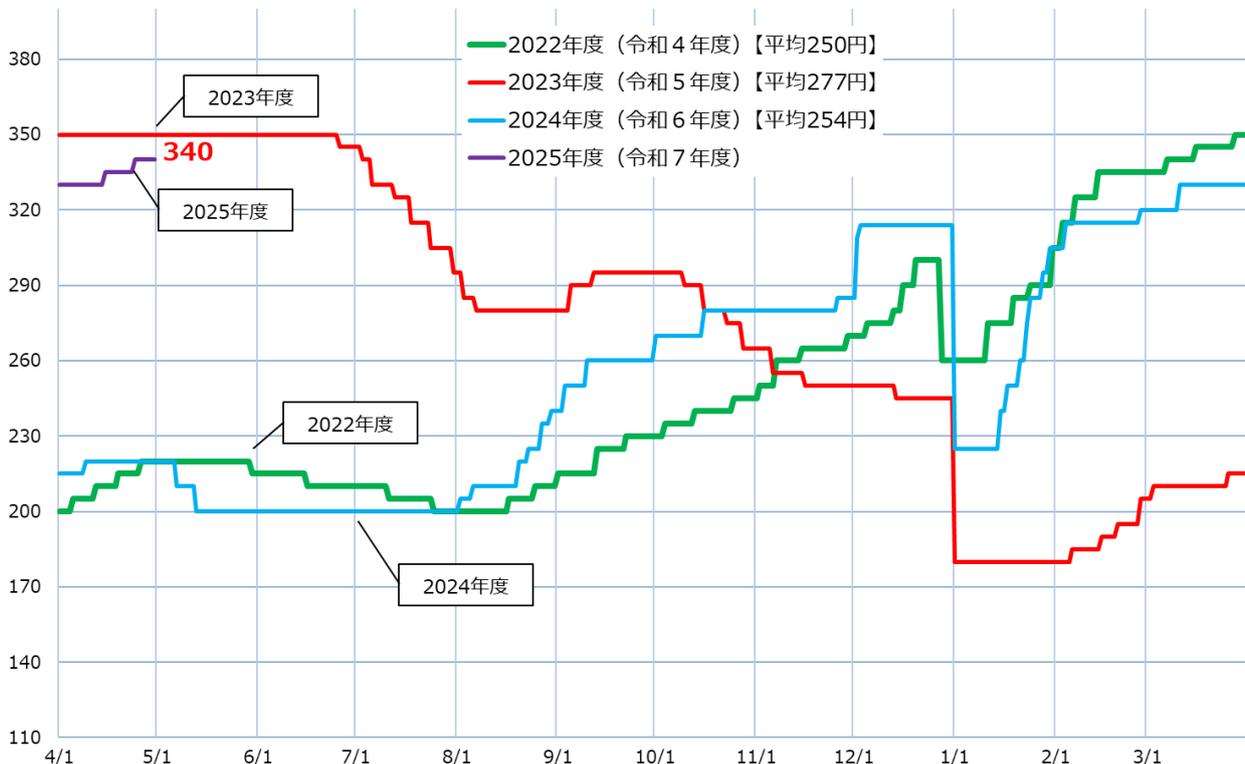
鶏卵相場動向 — 過去10年間の4月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成28年	215	233	209
平成29年	227	250	214
平成30年	179	203	164
令和元年	174	203	164
令和2年	202	230	174
令和3年	241	270	224
令和4年	211	240	194
令和5年	350	374	344
令和6年	219	244	209
令和7年	334	365	324
平均値	235	261	222

令和7年4月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値365円は、過去10年の平均値261円を104円上回り、安値324円は、過去10年の平均値222円を102円上回っています。



鶏卵相場推移 2022年度～2025年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は3月末の330円から、3月末では340円に価格が上がりました。



鶏卵関係主要計数 —— 令和7年2月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比★	数量(g)	前年比	前年(円/kg)	本年(円/kg)
6年 3月	8,325	87.9%	464	97.4%	928	112.1%	343	211
4月	8,283	95.0%	478	108.2%	876	103.6%	350	219
5月	8,046	86.1%	477	102.2%	937	112.5%	350	204
6月	8,057	83.6%	439	97.9%	906	110.8%	349	200
7月	8,539	91.6%	450	105.4%	837	102.9%	320	200
8月	7,789	89.6%	434	99.2%	864	100.5%	282	217
9月	7,346	91.2%	426	98.9%	885	104.2%	292	256
10月	8,473	96.3%	484	105.0%	902	101.2%	283	275
11月	7,429	85.7%	471	99.9%	887	101.2%	254	281
12月	8,931	93.2%	510	100.4%	970	102.1%	247	290
7年 1月	8,099	107.3%	460	100.1%	897	99.9%	180	258
2月	8,402	110.1%	432	94.5%	860	96.6%	190	315
1年間合計平均(%)	97,719	93.1%	5,525	100.8%	10,749	104.0%	287(平均)	244(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,402千羽（前年比110.1%）と前年比10.1%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、432千トン（前年比94.5%）と前年比5.5%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、860グラム（前年比96.6%）と前年比3.4%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の125円高を示しました。
- ・配合飼料出荷量 前年比★は、生産量の前年比となります。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業参加者の

契約数量（単位：t）

令和4年度	1,794,699
令和5年度	1,731,712
令和6年度	1,824,242
令和7年度	1,784,201

② 標準取引価格

令和7年4月 324.98円/kg

③ 令和7年度

鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格

補填基準価格 230円/kg

安定基準価格 207円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)

Tel: 03-3297-5515 Fax: 03-3297-5519 発行日: 2025年5月15日

編集・発行責任者: 石井 馨 (info@jpa.or.jp)